

授業改善書

科目名	メディア教育論
担当者	田中岳文

授業の概要

社会教育および学校教育で用いられる情報メディアの基本的な理解を目指し、近年の情報通信技術の発達により成立・普及してきたデジタル情報メディアを中心に、それぞれの基本的理解、そして教育とのかかわりについて、技術的および社会的観点から考える講義科目である。

学校図書館司書教諭課程の必須科目でもあり、省令科目「情報メディアの活用」に相当する。

授業の問題点

今期は台風、学会出席、体調不良による休講等があり、補講をおこなった回数が多かった。それによりシラバスで示してある進行と不整合が大きくなった。

履修登録者に対して完遂した履修者数が少なかった。これは人間文化学科の選択科目として履修した高年次生が最初の数回で履修をやめることが多かったことによると見受けられる。

学生の授業満足度

4.25は授業を終えた後の実感を超えて高く感じる。自由記述欄のコメントがないので推測になるが、小人数で双方向性を意識して進行していること、講義科目ではあるがメディアセンターやPC教室の活用を通じて実物などを確認しながら進めていることなどが要因かもしれない。

最初の段階で履修をやめた方々の理由を知りたい。最初から発言を多く求めることに戸惑いを感じた可能性を考えているが、推測の域を出ない。

授業改善の課題と方策

卒業選択科目であると同時に司書教諭資格取得科目でもある。したがって含める必要のある内容が多く、自由度はそれにより制限される部分がある。しかし履修学生が少ない科目でもあるので、ゼミナールに近い双方向性を保て、学生の自発的・発展的な質問にも対応しやすい。この利点を活用していきたい。

その他

司書教諭課程科目全般に言えるが、教職につく際の付加価値を高めるために教職課程履修者には積極的な課程履修を勧めたい。非常勤講師のできることは限られるので、学内での周知をお願いしたい。